

新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

担当課：

担当課長名：

事業名	四国横断自動車道 あなん こまつしま 阿南～小松島		事業区分	高速自動車国道	事業主体	
起終点	自：徳島県阿南市 至：徳島県小松島市			延長	10 km	
事業概要	<p>四国横断自動車道阿南中村線は、阿南市を起点として、小松島市、徳島市、高松市及び高知市を經由して中村市に至る延長約312kmの高速自動車国道である。本路線は、四国縦貫自動車道、四国横断自動車道内海大洲線等と一体となって四国4県を結ぶ広域的なネットワークを形成し、経済・産業・文化の発展、広域的な連携による地域の自立の促進並びに活力ある地域社会の形成に欠くことのできない根幹的な基盤施設である。</p>					
事業の目的、必要性	<p>阿南市～小松島市間は、並行する一般国道55号とのダブルリンクによる道路交通の信頼性向上、阿南市と徳島空港間等の旅行時間の短縮、一般国道55号の混雑緩和・地域環境改善及び沿道地域の地域活性化への寄与する重要な区間であり、社会経済活動の発展を大きく促進するものである。</p>					
全体事業費	463億円			計画交通量	22,800台/日	
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
	9.9	277億円 (事業費：263億円 維持管理費：14億円)	2,745億円 (走行時間短縮便益：2,515億円 走行費用減少便益：163億円 交通事故減少便益：66億円)	平成15年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・指標2（新幹線・空港へのアクセスが向上する） ・指標4（拠点都市間を連絡し、相互の連携が図られる） ・指標6（使用観光地へのアクセスが向上する） <p style="text-align: right;">他11項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>徳島県の人口の6割が集中する徳島、鳴門、小松島、阿南の4市を結ぶ、県の基軸となる高速道路であり、整備は不可欠である。南海地震等の災害時には国道55号の迂回路、あるいは緊急輸送路として、また、高度医療機関がない県南地域と医療機関を結ぶ「いのちの道」として早期整備を要望する。（徳島県）</p>					
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。